

労働安全衛生への取り組み

●基本方針

当社グループは、働く人々全員の安全と健康を企業活動の基盤と位置づけ、労働災害・自動車事故・衛生環境の悪化を防止・撲滅することを目的に、NITTAグループ労働安全衛生方針を定めています。

「当社グループは、当社グループの管理下で働く全ての人の安全と健康に配慮した快適な職場環境を実現するため、労働安全衛生リスクを明確にし、危険性・有害性の軽減・除去、並びに防火・防災活動を全員参加で推進し「危険ゼロの職場」を目指します。また、労使の参加と協議を通して、継続的な改善に努めます。」

▼労働安全衛生活動の推進体制図

NITTAグループ安全衛生委員会(経営者)
安全衛生推進責任者会議(各社安全衛生推進責任者)
各拠点 安全衛生委員会(会社、組合)
各拠点 職場安全衛生会議(全職場単位会議)

●体制と主な取り組み

労働安全衛生マネジメント推進体制を構築し、各種安全衛生教育、パトロール、リスクアセスメント、安全運転推進活動等を実施しています。

化学物質に関しては、SDSの適切な管理体制の導入、リスクアセスメントの実施状況確認、管理者選任の不備への対応等を通じて、職場環境の安全性向上を図っています。事務局によるパトロールや不定期の現場確認を通じて、リスクの抽出漏れや対策漏れへの対応も強化しています。

また、テレマティクスデータを活用した自動車事故の未然防止活動にも取り組んでいます。



フォークリフト安全運転講習



AED実施訓練

推進状況と評価

災害発生時には、原因の調査・分析と恒久的な再発防止策の検討を行い、安全衛生委員会で情報を共有。必要に応じて改善提言を行い、再発防止の仕組みづくりに継続的に取り組んでいます。

重大事故の未然防止に向けては、パトロール活動を通じた改善を推進し、化学物質や自動車運転に関するリスクへの対応を強化しています。

事業継続計画(BCP)への取り組み

●基本方針

当社グループは、事業活動を阻害し、ステークホルダーの皆様に影響を及ぼすリスクに対する対応力・復旧力の向上に継続的に取り組み、自然災害・事故をはじめとする不測の事態発生時においても事業を継続し、企業として地域社会への責任を遂行するとともに、質の高い製品・サービスを提供するために、事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)を策定しています。

●体制と主な取り組み

全社共通の事業継続計画(BCP)を基盤とし、各工場をはじめとする拠点ごとに、地域特性や業務内容に応じた個別のBCPを策定しています。これらの計画の実効性を高めるため、定期的に訓練を実施し、訓練結果の評価を通じて、復旧手順書や対策計画の見直し・改善を継続的に行っていきます。

このような取り組みにより、災害や緊急事態発生時においても、迅速かつ確な対応が可能な体制の構築を進めています。

推進状況と評価

事業継続計画(BCP)の実効性を高めるため、工場において外部コンサルタントを活用した災害発生時のシミュレーション訓練を導入しています。この訓練では、現実的かつ実行可能な対策となっているか、対応に漏れがないかを検証するとともに、避難行動、人命救助、拠点間の連携体制等の課題を洗い出し、改善を図っています。

これらの取り組みを通じて、災害発生時における「行動力の強化」を継続的に推進しており、実効性の高いBCP体制の構築を目指しています。また、工場において実施した災害発生時のシミュレーション訓練により、その有効性が確認されたことを受け、今後は本支店を含む他の拠点にも順次展開していきます。